

学校 教育 目標	「みんなが かがやく みなみの子」							
	○学ぶ楽しさを味わい、思いを豊かに表現する力を育てます。(知) ○礼儀や規律を守り、自分や相手を大切にできる態度を育てます。(徳) ○規則正しい生活を心がけ、心身ともに健康に生きる力を育てます。(体) ○社会の一員として、自分ができていることを考え、実践する力を育てます。(公) ○様々な人とのコミュニケーションを通して、互いを認め合い、ともに生きる力を育てます。(開)							
学校 概要	創立 60 周年	学校長	福田 美穂	副校長	小嶋 一喜	2 学期制	一般学級: 22	個別支援学級: 7
	児童生徒数: 793 人		主な関係校: 南瀬谷中学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
協働して課題を解決する力 言語能力 自分づくりに関する力	南瀬谷中学校 南瀬谷小学校	○自他の良さがわかり、ともに学び合う子ども ○主体的に物事に取り組める子ども ・「協働して課題を解決する力」の育成をテーマとし、授業展開をする。年に2回の授業参観を通して、児童・生徒の見方や考え方の共通理解を図る。 ・児童・生徒交流会や地域交流学習会に積極的に参加する。

中期 取組 目標	○子どもたち一人ひとりの思いを大切に、まちとともに歩む学校をつくります。 ・体験活動を通して、多くの人と関わり、豊かな学び合いができるようにします。 ・楽しく学べる授業展開を工夫し、進んで表現しようとする意欲を高め、学力向上を図ります。 ・子どもたち一人ひとりが活躍する場を設け、楽しく学校生活を送れるようにします。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①学習状況調査を分析し、系統的な取り組みやめあてをせつけて基礎基本の定着を目指した指導をする。②目的意識をもって学習する態度を養い、自分の言葉で表現する活動を各教科の中で意識的に増やし、学び合いを重視した授業を展開する。
担当 教育課程委員会	
豊かな心	①子どもの実態をもとに、教科書や道徳教材を計画的に活用し、全学級の授業公開を年1回以上実施する。 ②異学年児童同士が交流するたてわり活動を通して、いろいろな人とのかかわりを大切にできる気持ちを育てる。
担当 道徳部・人権教育部	
健やかな体	①よりよい生活習慣が身に付くよう、あいさつカード等を活用して「基本的な生活習慣」の見直しを児童や保護者によびかけていく。 ②関係諸機関との連携を深め、健康教育を推進するとともに、体力向上一校一実践運動を通して運動の習慣化を図る。
担当 体育部	
地域連携・学校運営協議会	①学校での体験活動や地域交流学習会などで、児童が豊かに学習できるよう、地域の方との情報交換や話し合いの場を積極的に設ける。 ②学校運営協議会の部会の活動について見直し、さらに学校と地域の連携が深まるようにする。
担当 学校運営協議会部	
特別支援教育	①関係諸機関と連携し、年1回以上のコンサルテーションを実施し、特別支援の視点から授業を見直す。 ②計画的に研修を行い、特にユニバーサルデザイン教育について理解を深め、日々の授業に生かす。
担当 特別支援教育委員会	
児童指導	①学級指導を柱にして、あいさつや場に応じた言葉づかいを指導するとともに、道徳教育、人権・福祉教育と関連させて年間指導計画を立てて指導する。 ②生活目標の意識付けを図れるように努め、児童自身が意識して学校生活を送れるように支援する。
担当 児童指導部会	
いじめへの対応	①月1回のいじめ防止対策委員会の他、毎週行う学年研究会での情報共有を確実にし、いじめの未然防止とともに、組織で対応する。 ②いじめアンケートを年2回実施するとともに、児童が相談しやすい環境づくりを推進する。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①5年次以下の教職員でメンターチームをつくり、各部主任や主幹教諭を講師に2か月に1度計画的に研修を行う。②企画会において学年や各部・委員会の情報共有をし、ミドルリーダーが学校全体を見通して学校運営に参画できるようにする。③職員室アシスタントの有効活用と、明確なタイムスケジュールを立てた会議の運営で働き方改革を推進する。
担当 教務部・メンターチーム	